

●休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3)
 ●初診受付時間 8:30-11:00(窓口)
 ●再診受付時間 8:15-17:00(自動再来受付機)、8:20-17:00(窓口)
 ●外来玄関開閉時間 7:30-18:00

■外来診療棟

階/西	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 092-642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 092-642-5388	月・水・金 ※要紹介状	月・火・水・金
	外科 ●消化管外科(1) ●泌尿器科・痔瘻科・腎臓移植外科 ●呼吸器外科(1) ●乳腺外科(1) ●内分泌外科 TEL 092-642-5453	火・木	火・木
	外科 ●消化管外科(2) ●肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 ●呼吸器外科(2) ●乳腺外科(2) ●血管外科 TEL 092-642-5479	月・水・金	月・水・金
4階/東	先端医学診療部 TEL 092-642-5993	月・水・金	月・水・金
	産科 TEL 092-642-5900 婦人科 TEL 092-642-5409	月・金 ※要紹介状	月・金
4階/東	ペインクリニック(麻酔科)生科 TEL 092-642-5719	月・火・水・金	月・金
	再生歯科・インプラントセンター TEL 092-642-6361	月・金	月・金
3階/西	内科 ●血液・腫瘍内科 ●免疫・膠原病・感染症内科 ●消化器内科 ●腎・高血圧・脳血管内科 ●内分泌代謝・糖尿病内科 ●肝臓・脾臓・胆道内科 TEL 092-642-5302	月・金 ※要紹介状	月・金
	先端分子・細胞治療科 TEL 092-642-5302	月・金	月・金
3階/東	ハートセンター外来 TEL 092-642-5371 TEL 092-642-5565	①月・木 ②火・水・金 ③月・水・金 ※要紹介状	①月・水・金 ②火・水・金 ③火・木
	皮膚科 TEL 092-642-5597	月・水・金 ※要紹介状	火・木
3階/東	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 092-642-5681	火・木	月・水・金

※赤色の曜日は予約が必要です。

※電話予約受付時間 14:00-18:00 予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください。
 ※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に保険外併用療養費として3,150円が必要となることがあります。あらかじめ各診療科外来にお確かめ願います。

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく!

※保険証の表示がない場合には、保険での取扱いができません。

外来患者さんへ

- 本院のお薬は原則として「院外処方」としています。「院外処方せん発行」にご協力ください。
- 外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので、できるだけ公共の交通機関をご利用いただきますようご協力願います。

■病院の理念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】

- ①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ②専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ③プライマリ・ケア診療の充実
- ④国際化の推進
- ⑤全人的医療が可能な医療人の養成

■人間ドック(先進予防医療センター)

TEL 092-642-5746(月-金、8:30-17:00,要予約)

平成24年12月現在

■北棟

階/西	診療科名	初診日	再診日
2階/西	神経内科 TEL 092-642-5349	火・水・金	月・水
	脳神経外科 TEL 092-642-5533	月・水・金	月・水・金
	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 TEL 092-642-5615	火・木	月・水・金
	精神科神経科 TEL 092-642-5640	火・木	月・金
2階/西第2	子どものこころの診療部 TEL 092-642-5642	火・木	月・金
	眼科 TEL 092-642-5660	月・水・金	月・金
2階/東	整形外科 TEL 092-642-5504	月・水・金	月・金
	放射線科 TEL 092-642-5705	月・水・金 ※放射線科、ヨード治療は要予約	月・金
2階/東	総合診療科 TEL 092-642-5300	月・金	月・金
	矯正歯科 TEL 092-642-6460	月・金	月・金
5階/東	全身管理歯科 TEL 092-642-6483	月・金	月・金
	顎口腔外科 TEL 092-642-6445	月・金	月・金
5階/東	顔面口腔外科 TEL 092-642-6450	月・金	月・金
	歯科麻酔科 TEL 092-642-6479	月・金	月・金
4階/西	歯周病科 TEL 092-642-6425	月・金	月・金
	歯内治療科 TEL 092-642-6430	月・金	月・金
4階/西	咬合補綴科 TEL 092-642-6435	月・金	月・金
	義歯補綴科 TEL 092-642-6440	月・金	月・金
4階/東	歯科総合予診 TEL 092-642-6500	月・金	月・金
	口腔画像診断科 TEL 092-642-6471	月・金	月・金
4階/東	口腔総合診療科 TEL 092-642-6490	月・金	月・金

九大病院だより

九州大学病院 広報委員会発行

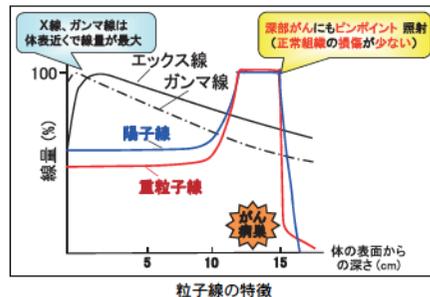
■切らずに治すがん治療[1] がんの放射線治療—「粒子線がん治療外来」のご案内

粒子線治療とは

近年注目されている放射線治療で、電荷を帯びた粒子を光のスピードの70-80パーセントまで加速してがん病巣を狙い打ちする治療です。「陽子線治療」と「重粒子線治療(=炭素線治療)」の2種類があり、いずれも先進医療として実施しています。

九州では、鹿児島県指宿市に陽子線治療施設があります。また平成25年には、佐賀県鳥栖市に重粒子線治療施設がオープン予定です。

一般の放射線治療で使われるX線やガンマ線と比べて、線量をより集中的に病巣に照射しやすいため、放射線被ばくによる副作用が少ないことが粒子線治療に共通する特徴です。ただ、がん細胞に対する効果という点では両者には違いもあり、陽子線的作用が従来のX線やガンマ線に近いのに対して、重粒子線では2、3倍高いと言われ、放射線

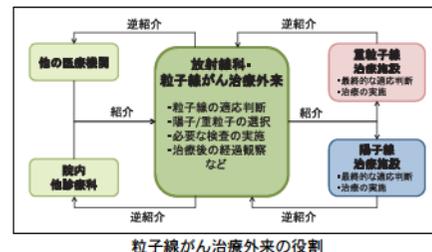


治療が苦手としていたタイプのがんにも有効性が高く、治療回数(治療期間)も短いという特徴があります。

粒子線がん治療外来とは

粒子線治療は優れた治療ですが、もちろんどのようながんに対しても最適な治療法というわけではありません。手術や抗がん剤治療を優先すべき場合もあります。また最近では、エックス線やガンマ線を使った治療もたいへん進歩しています。

粒子線がん治療外来では、放射線治療専門のがんの種類や病状に応じて粒子線治療の適応を見極めて、適切にアドバイスを行います。さらに、必要に応じて迅速に粒子線治療施設へ紹介し、その施設と連携して治療後の経過観察も行います。



粒子線がん治療外来についてのお問い合わせ

◎放射線科 TEL 092-642-5705
診察日：火、木曜日の午後(要予約)

エッセイ



音の記憶

産科婦人科長

かとう きよこ
加藤 聖子
Kyoko Kato

11月になると、街にはあざやかなイルミネーションとともに、ジングルベルが流れます。この曲を聴くと、私は子供のころの楽しかったクリスマスを思い出し、心が浮き浮きしてきます。

私たちがいる場面を思い出そうとする時、その時の風景や

薫り、味などとともに、音も重要な手がかりの一つです。若い頃に流行った歌で青春時代を懐かしむというのは、よくある話です。

先日、自宅で昭和30年代を設定したドラマを見ていた時、ダイヤル式の黒電話がリリリンと鳴っているのに、登場人物が受話器を取ろうとしないのを不思議に思いました。10分後、私の携帯電話に着信が残っていることに気が付きました。前日、着信音を昔の電話のベル音に変えていたことを忘れていました。そう、私の携帯電話が鳴っていたのです。私の脳は、その音を現代の電話の音として認識しなかったのです。こんな身近な生活音も、時代とともに移り変わっていくものの一つなのですね。

さて、10年、20年後、私たちはどのような音で今を思い出すのでしょうか、楽しみです。

▶▶▶ 診療科のご案内 ①

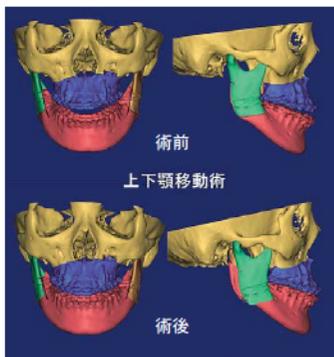
顔面口腔外科

口腔(こうくう)外科は、親知らずの難拔牙はもちろんのこと、口腔粘膜やあごの骨の炎症、腫瘍(しゅよう)、嚢胞(のうほう)や外傷(骨折)の治療など、口の中を中心とした外科系の疾患を担当しています。とくに当科では、先天性疾患である唇顎口蓋裂(しんがくこうがいれつ)と顎(かく)変形症を専門に担当し、最新で安全な医療を提供しています。

唇顎口蓋裂では、生後すぐから成人になるまでの一貫治療(審美、発音、口腔機能の獲得)を行っています。

顎変形症では、咬み合わせを重視して矯正歯科と連携をはかりながら、骨格の形成のみならず、軟組織の形態変化にも留意した治療を行っています。手術前にCTデータを三次元構築し、右図の術前・術後図のように、予測移動量のシミュレーションを行うことで、より安全な手術を目指しています。

顔面口腔外科: <http://www.omfs2.dent.kyushu-u.ac.jp/>



▶▶▶ 診療科のご案内 ②

内分泌外科

当科はがんを含めたあらゆる甲状腺、副甲状腺疾患の外科治療を専門としています。甲状腺の疾患としては甲状腺がん、縦隔内甲状腺腫、パセドウ病、良性甲状腺腫などの手術を行います。副甲状腺の疾患としては、副甲状腺がん、原発性副甲状腺機能亢進症、続発性副甲状腺機能亢進症に対し、手術を行っています。

良性の甲状腺腫ように対しては鏡視下手術を導入しています(図1)。また、縦隔内に進展した甲状腺腫ように対しては胸骨正中切開下に甲状腺摘出を行います(図2)。

身体に負担の少ない傷の小さい治療を目指していますが、病状・病態に合わせ、傷を拡大しなければ治療(摘出)できないものに対しては、傷を大きく広げ摘出する治療を行います。詳しくは受診の際に、主治医にお尋ねください。

内分泌外科: <http://www.med.kyushu-u.ac.jp/surgery/1/>

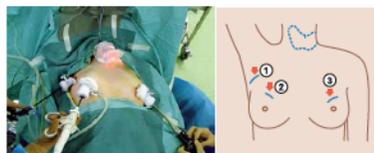


図1 鏡視下甲状腺手術 ↓: 鉗子挿入部位
①術者左手鉗子孔
②術者右手鉗子孔
③助手カメラ孔

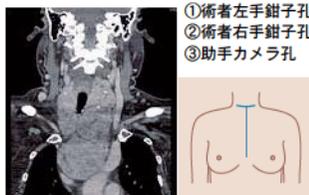


図2 縦隔内甲状腺腫 一部皮膚切開する部位

■連載 コメディカルを紹介します[7]

このコーナーでは本院の医療スタッフの役割を順次、紹介します

先進予防医療センター エスコート職員

私たち先進予防医療センターエスコート職員は、おもに人間ドックを受診する被検者の方を検査室に案内するエスコート業務を行っています。その他、電話による問い合わせへの対応や予約、書類の作成、ドック受診後の面談予約などを行っています。

初めての受診の方から毎年来院している方まで、被検者の方の緊張が少しでも和らぐよう、笑顔と心配りを大切にしています。

旧外来棟二階のセンターで、被検者の方をお待ちしています。

人間ドックに関する資料なども用意していますので、ぜひ、お気軽にお越しください。TEL: 092-642-5746



第5回 人間ドックのご紹介

脳卒中ドック

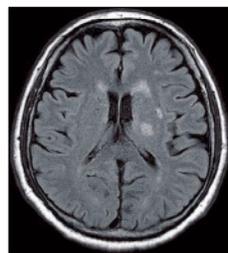
先進予防医療センター 副センター長 北園 孝成

先進予防医療センターでは、脳卒中の早期発見と予防を目的として、脳卒中ドックを行っています。脳卒中はわが国の死因の第3位、寝たきりの原因の第1位の疾患です。また、生活習慣の変化や高齢化に伴い、患者数は増加しています。

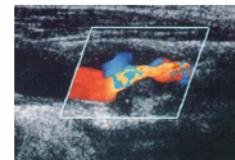
当センターの脳卒中ドックでは、頭部MRI検査によって脳卒中や脳腫瘍など、脳の疾患の画像診断を行います。そして、MRA(MRによる脳血管の検査)や頸(けい)動脈エコー検査によって、造影剤を使わない身体にやさしい方法で、首から頭の中につながる脳血管の診断を行っています。

脳動脈が動脈硬化で狭くなると脳梗塞の原因となります。また、脳動脈瘤は、死亡率の高いくも膜下出血の原因です。これらの病変を症状が出る前に発見することで、脳卒中の発症を予防することができます。さらに、血液検査、心電図検査、脈波伝播速度検査などを組み合わせて、脳卒中の危険因子の評価を行いますので、脳卒中の総合的な予防につながることを期待しています。

頭痛、めまい、しびれなどの症状がある方、また、症状がない方でも、とくに高血圧、糖尿病、高脂血症、不整脈などの方は、ぜひ脳卒中ドックを受けていただきたいと思います。



頭部MRI検査



頸動脈エコー検査

九州大学病院別府病院のご紹介

栄養管理室

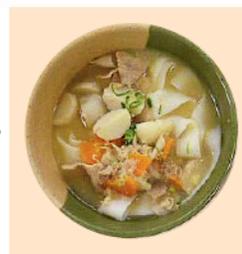
別府病院栄養管理室では、食事を楽しみにしていただいている入院患者さんへ、「安全・安心・喜ばれる」食事を届けることができるよう、スタッフが一人となり頑張っています。

大分名物といえ、とり天やだんご汁。郷土料理としても県内外の方にたいへん喜ばれます。とくに今からの寒い季節には野菜がたっぷり入っただんご汁は心も身体も温まり、「治療への鋭気を養ってもらえれば…」と献立に取り入れています。

食欲のない方にも少しでも召し上っていただけるように、患者さんと看護スタッフと相談しながら、食事内容や調理形態の工夫を行っています。そして1日でも早く笑顔になっていただきたい、とスタッフ一同、心を込めて作っています。

また、別府病院では栄養管理室が事務局となり、院内スタッフと「糖尿病患者様の会・さくら会」を設立し、今年の春で10年目を迎えました。毎年春には市民公開講座、秋には「運動せん会・食べん会」(大分の方言では「うんどうせんかえ、たべんかえ」と言います)を開催、多くの患者さん、スタッフと一緒に有意義な1日を過ごしています。

これからも郷土料理を大切に、美味しく楽しい食事提供とともに、地域に貢献できる栄養管理室を目指して日々努力していきたいと思っています。



■患者さん用駐車場と、エレベータ棟の新設について

旧病院外来棟跡地に患者さん用の駐車場と、駐車場と新病院南棟を結ぶエレベータ棟が完成し、11月5日より運用を開始しました。

新しい駐車場には、身障者用の駐車スペース23台を含む、270台分の駐車スペースを新規に確保しています。これにより、駐車場の混雑解消が見込まれます。

また、エレベータ棟と南棟2階は渡り廊下で繋がっていますので、車道を横切ることがなく、また、風雨を避けての通行が可能です(ただし渡り廊下は構造上ゆるやかな坂道となっていますので、通行の際はご注意ください)。

これらの新しい駐車場とエレベータ棟を、ぜひご利用ください。

